

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		VIF+友部				公表日	2026年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		運営基準を満たしております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		運営基準以上の職員を配置しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		絵カードや写真を使用してわかりやすく手順を示す等、一人ひとりのお子様に応じた提示方法で配慮しております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		適宜環境の維持や改善をチェックしており、安全面にも配慮しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		クールダウンや静養室等必要に応じて利用しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		PDCAサイクルを取り入れ毎日ミーティングや月に1~2度の職員全体会議を行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年事業所評価アンケート調査を行い、結果をホームページで公表するとともに職員間でも共有し業務改善に繋げております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員全体会議やミーティング、3か月に一度の1on1ミーティングで上がった職員の意見等は、業務改善に活かしております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		第三者評価は行っておりませんが、第三者委員として地域民生委員の方にお願ひし、6か月に1度事業所を訪問して頂き、意見交換等を行っております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年間スケジュールを立て内外研修を行っております。職員それぞれ専門性の研修を積んでおります。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		VIF+友部ホームページ上で公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		保護者様、保育園や幼稚園と共に情報を共有し、ニーズや課題を定めております。月に1度のカンファレンスを通して全職員でアセスメントやモニタリング評価を行った上で支援計画を作成しております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		支援計画作成前に職員間でサービス担当者会議を実施し共通理解を図っております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画立案後職員間で回覧し共有したり、支援後振り返りも行っております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		専用電子ソフトのツールを活用し、職員間で話し合いを行っております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらいを個別支援計画にも反映させ、具体的な支援方法を設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		年間スケジュールをもとに毎月職員全体会議で立案しております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		同じパターンでお子様は落ち着くこともありますので固定している活動もあります。季節に合わせて活動も取り入れたり、お天気が良い日には戸外遊びを行う等内容を工夫しております。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別プログラムや集団活動を適宜組み合わせ支援を行い、個別支援計画を作成しております。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			支援前には職員ミーティングを行い、前回の振り返りや当日の支援内容、役割の確認を行っております。ミーティング内容はきちんと記録をとっております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			6か月に1度計画の見直しを行うため職員カンファレンスを実施し、内容の変更や更新を行っております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当職員等その時の状況に適して職員で出席致しております。	
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			お子様が通園している保育園や幼稚園だけでなく、関係機関や相談支援事業所とも連携し情報共有しながら支援方法を統一しております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			小学校就学を見据えて、就学までに身に付けたいスキルの獲得を目指し情報共有を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			まだ小学校就学対象のお子様はいらっしゃらないため、今後対照とするお子様がいた場合には連携を図る取り組みを実施して参ります。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8			笠間市育成支援センターと連携を図り、育成支援センター主催の研修等に積極的に参加し、学びを療育に生かしております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1		地域のこども食堂やそのイベントに参加して交流する機会を設けております。	地域の中で他のお子様と活動する機会に関しては保護者様のご意見をお聞きしながらすすめていきたいと思っております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			都度、送迎時に情報共有を行っており共通理解を図っております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			チラシ等で家族が参加できる研修や講演会等の情報提供は行っております。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			契約時に必ず説明をしております。ご不明な点等がありましたら随時説明も行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			ニーズに合った支援を提供するためにも、送迎時にもニーズの把握に努めております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			対面で説明を行い、同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			ご希望に応じて相談を受け付けております。また、定期的に面談、相談の時間を設け意識して支援にあたっております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		市の行事等に参加し保護者様同士が交流できる機会を設けております。	保護者会は毎年3月の第一土曜日に開催しておりましたが今年度はインフルエンザ等感染症が大流行しているため、学校保健安全法に基づいて管理者判断で中止としました。今後は時期を改めまして開催したいと考えております。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			意見や申し入れがあった場合には、根本原因やアクションプランを明確にし、フォーマットを活用しながら対応しております。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		定期的にホームページやInstagramを活用し、情報発信を行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報記載された書類は鍵付きの書庫に保管しており細心の注意を払っております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		視覚的にわかるように写真や絵カードを提示する等意思疎通の方法をお子様や保護者様に合わせるようにしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	半年に1度地域の民生委員さんを招待してお子様方と交流する機会を設けております。	事業所内への招待イベントは行っておりません。今後は地域の広報誌等を参考にし、交流の機会を図っていきたく思っております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアル等作成し、年間計画を元に訓練や研修を実施しております。また、ホームページ上で公表しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画を作成し、定期的に備蓄のチェックや必要な訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		児童調査票やフェースシート等の提出をお願いしております。お子様に関して見逃しがないように確認、把握させて頂いております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		食物アレルギーに関する調査票の提出をして頂き、全てのお子様からアレルギーの有無を確認しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、ホームページ上で公表しております。必要な研修や訓練等は都度行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		防災時の避難場所や保護者様への連絡方法を定め、周知しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット事例が起こった場合は職員間で情報を共有し改善策、検討を行い、報告書に記載して再発防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会を設置し、職員間で活動内容報告や研修等を実施しております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		身体拘束適正化委員会を設置し、職員間で活動内容報告や研修等を実施しております。		